

第3戦 6月19日(日)

和歌山

テーマパークを舞台に毎年華やかなムードのなか
開催されるITU国際イベント和歌山大会。
今年からエイジ部門のアクアスロン大会を併設し、
エリート・エイジともに楽しめる大会としてさらなる盛りあがり期待できる。



装いも 新たに登場



アクアスロン大会併催決定

NTTトライアスロンジャパンカップ第3戦

2005ITU国際大会和歌山大会

2005和歌山マリーナシティアクアスロン大会

マリリゾートを駆け抜ける

6月19日(日)、和歌山マリーナシティでNTTトライアスロンジャパンカップ第3戦・2005ITU国際大会和歌山大会が開催される。

和歌山大会は近畿地方唯一のジャパンカップとして2002年に誕生、今年で4回目を迎える。

テーマパークという場所柄、観戦者には初めてトライアスロンを目にする人も多く、スピード溢れるレースにどよめきと歓声がわきあがる。

このコース最大の難関は、バイクで待ち受ける高低差の激しいサンブリッジ。脚力が問われるコースをいかに攻めていくかが一つのカギとなりそうだ。

北京を見据えた若手の活躍

昨年はアテネ・オリンピック代表組が合宿中だったこともあり、若手中心の大会となった。

女子は、04世界選手権のU23で6位入賞を果たし急成長を遂げる上田藍(グリーンタワー・稲毛ITC)が終始快調な走りを見せ、2時間7分

15秒で2位の高橋梨香(アラコ)に1分43秒もの差をつけての堂々たる走りを披露。

続く男子は、アテネ出場を果たせなかった悔しさをバネにこのレースに臨んだ平野司(関西大学)が得意のスイムで力を温存し、最後のランで勝負をかける新たなスタイルで見事ジャパンカップ初優勝を手にした。続く2位に高濱邦晃(日本食研)、3位に佐藤治伸(アラコ)が入った。

実力の証明

昨年は男女ともに若手の成長がうかがえた本大会。北京への新たなスタートとなる今年、ベテラン勢を加えてのレースに若手がどれだけ食らいついていけるか、その実力が試される時がやってきた。

なかでも注目したいのは、脚力が試されるバイクでいかにかけひきをし、どれだけランへと力を温存することができるか。

若手の活躍によって、最後まで目が離せない見応えあるレースになることを期待したい。

また、第1回となる和歌山マリーナシティアクアスロン大会も行われる。

Start エリート:女子11:00 男子13:30
距離 エリート:51.5km
(スイム1.5km、バイク40km、ラン10km)
テレビ放映 テレビ大阪・テレビ和歌山(2004年実績)
Web <http://www.jtu.or.jp>
問い合わせ 〒541-0057大阪府大阪市中央区北久宝寺町4-3-5
本町サミットビル6階
2005ITU国際大会和歌山大会事務局
TEL 06-6282-1641 FAX 06-6282-1648
特別協賛 NTT西日本

歴代チャンピオン

	女子	男子
2002	レンカ・ラドバク(CZE)	西内 洋行(チームテイケイ)
2003	枇杷田深雪(ニデック)	佐藤 治伸(AR.WORLD)

2004Result

女子	1	上田 藍(グリーンタワー・稲毛ITC)	2:07:15
	2	高橋 梨香(アラコ)	2:08:58
	3	志垣 めぐみ(旭化成ライフ&リビング)	2:09:02
男子	1	平野 司(関西大学)	1:55:02
	2	高濱 邦晃(日本食研)	1:55:30
	3	佐藤 治伸(アラコ)	1:55:59

